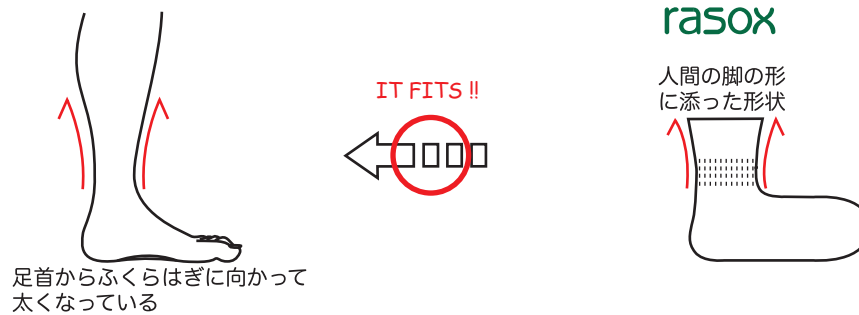


## "締めつけなくてもズレ落ちない"のタネあかし。

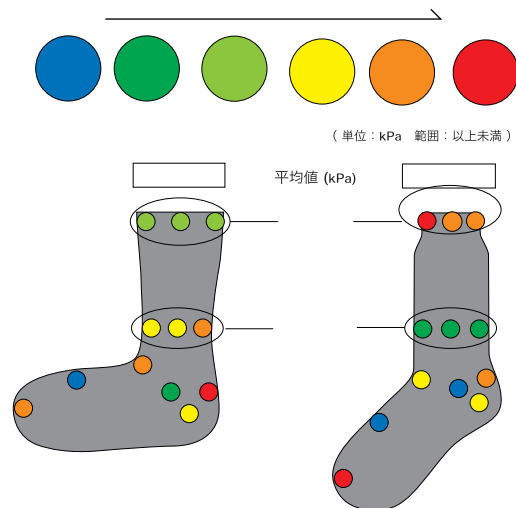
『ラソックス』は直角に編み込まれているため従来のように足裏面を伸ばして履くのではなく、靴のようにハメ込む感覚で着用します。またゴムの位置を口部から足首部へ移動させ足に合った形状をつくることにより靴下全体で均等に包み込むようにホールドさせているのです。イメージでは足首以下を安定させ、その上に口部が乗っている感じです。したがって生地にも負荷が小さく、口部で締めつけることなくズレ落ち、イヤなカユミなどの不快感を軽減しているのです。



## データでみる快適さ

HQL 社団法人 人間生活工学研究センター <着用圧計測>

上辺4ヶ所、足付け根4ヶ所の着用圧の合計は、RASOXで11.94、従来型靴下で11.46とほとんど同じであった。その内訳はRASOXでは上辺に43%の圧がかかり、足付け根に57%の圧がかかっている。一方、従来型では上辺に79%の圧がかかり、足付け根には21%しかかかかっていない。RASOXと従来型靴下では、上辺と付け根への圧力の配分のし方(どちらを強くするか)、またその配分の割合(極端な差か、少しの差か)に違いがあることが分かる。



同じ糸、構造で編み上げたRASOXと従来型靴下



16箇所センサーを取り付け各部にかかる圧力を計測しています

| 靴のサイズ25.5Eの男性1名がRASOXのMサイズと同サイズの従来型靴下を着用した結果 | RASOX     |          | 従来型       |          |
|--|-----------|----------|-----------|----------|
|  | 着用圧 (kPa) | 合計に占める割合 | 着用圧 (kPa) | 合計に占める割合 |
|  |           | 43%      |           | 79%      |
|  |           | 57%      |           | 21%      |
|  |           | 100%     |           | 100%     |

※平成18年1月調べ

QTEC 社団法人 日本繊維製品品質技術センター <着用試験>

圧迫感については、着用しはじめにはRASOXのほうがゆるく感じる女性が多かった。動きやすさについては、RASOXのほうが動きやすいと答えた者が多かった。着用中レッグ部分のずり落ちについてはRASOXのほうが少ないようであった。RASOXを再び着用したいかという質問にたいしては全員がしたいと答えた。